

MSW通信 2023.6月号

発行日 2023年(令和5年)6月30日

発行者 高知県医療ソーシャルワーカー協会

事務局 高知市本町4丁目1番37号丸ノ内ビル内 高知県社会福祉センター3F

FAX: 088-871-5100 (TEL 留守番電話対応のみ)

事務局 E-mail: kochi_msw2017@yahoo.co.jp (お問い合わせ・各種届)

MSW 通信部会 E-mail: kochimsw@yahoo.co.jp (MSW 通信への記事投稿)

URL: <http://www.kochi-msw.com/>

ご案内

●「協会年会費 □座振替・入金のお願い」

今年の第1回□座引き落としを7月末に実施予定とします。

新たな届での方お急ぎください。またご自身の□座残高をご確認ください。

直接お振込みの方は7月末までにご入金いただければ幸いです！

会費振込□座

【銀行 支店名】四国銀行 上町支店

【□座名義】高知県医療ソーシャルワーカー協会会長中本雅彦

【預金種別】普通

【□座番号】5110175

●「高知県災害派遣福祉支援チーム員募集」

高知県災害派遣福祉チーム(第4期)養成研修案内

もしもの時の「DWAT 隊員」として活動してみませんか？

大規模災害時に、一般避難所で高齢者、障害者、乳幼児その他特別な配慮を必要とする災害時要配慮者を支援するため、「高知県災害派遣福祉チーム」が派遣されます。全国都道府県に配置されています。派遣にあたっては、被災自治体からの要請に基づいて、高知県が派遣を指示し、高知県社会福祉協議会が4～6名を1チームとして編成し、被災地へ派遣します。活動期間は、1チームあたり7日間程度です。

○活動内容

①福祉避難所への誘導

②災害時要配慮者へのアセスメント(健康調査、ラウンド)

③日常生活上の支援

④相談支援(福祉(要配慮者)相談窓口、何でも相談)

⑤一般避難所内の環境整備

⑥本部や都道府県との連絡調整、状況等の報告

⑦後続チームへの引継ぎ

⑧被災市町村や避難所管理者との連携

⑨他職種との連携

⑩被災地域の社会福祉施設等との連携

＜養成研修会＞

日時: 令和5年9月13日(水) 9:30～16:30(9:00受付開始)

場所 高知県立県民文化ホール第6多目的室(高知市本町4丁目3-30)

主催 高知県 研修実施 社会福祉法人高知県社会福祉協議会

受講対象 以下の①と②のすべてにあてはまる者

① 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、保育士、看護師、相談支援専門員、医療ソーシャルワーカー、介護職員、生活相談員、生活支援員、地域包括支援センター職員で、業務経験が3年以上の者

② 所属する社会福祉施設・事業所等の長の承認を受け、施設・事業所等で構成される事業者団体・職能団体に所属している者

受講料 無料

問い合わせ：高知県 MSW 協会事務局へメールください。協会からの推薦、及び協会・職場からの派遣扱いとなります。

報 告

『理事会』

【日 時】 令和5年6月15日(木) 19:00~20:45

【開催方法】 オンライン(ZOOM ミーティング使用)

【参加者】 理事：佐々木・高原・藤井・島田・島村・森田・市川・永田・中本・上村・北村

出席理事：11名 理事会成立

監事：山光 特別参加：前田(広報部長)

【議 題】

1. 広報部会より報告：前田氏(高知大学付属病院)

協会公式 LINE の契約について、契約料 5,500 円/月

契約について、当協会は法人格を持たない、また協会としてのクレジットカードを持たないため現状では契約できず、担当者等の個人のクレジットカードでの契約が必要となる。トラブル回避の観点から個人のクレジットカード契約以外の方法を再度ライン会社へ相談、対応策を講じてみたが協会名での契約は締結できないとの返答があった。

2. 部会活動報告(事業計画・報告 検討)

① 社会資源調査研究部会(森田理事) 令和5年5月23日リモート開催

社会資源部会便り

○Aグループ(安芸市・北川村)

・安芸市：これまでの協会便りを協会ホームページで確認、その後情報提供してもらう予定。

・北川村：サービス一覧のPDF データをもらっている。一部抜粋して掲載するのではなくサービス一覧のPDF データを掲載する。

○協会ホームページの更新頻度について

・昨年協会がホームページの更新のためにエレパに支払った費用は約60万円。更新頻度の見直しの話も出ているが具体的な話にはなっておらず、社会資源便りの掲載頻度は現段階では現状維持。今後ホームページの更新頻度を減らすためにまとめて掲載することになる可能性あり。

その他

・社会資源ガイドブック：近森病院より細木病院の佐々木さんに1冊渡し残数無し

次回：令和5年6月27日部会開催リモート

② 生涯研修部会(藤井理事) 令和5年5月17日 ZOOM ミーティング部会

・新人研修(7/1)の役割分担

・案内発送8名 参加申し込み：今日現在PSWと1名の申し込み 6/16申し込み締め切り

・基礎研修Aコースの内容検討中 開催方法をハイブリッドとするか否か。

・専門研修は事例検討を予定。1事例1時間程度にて3事例検討、SWとしてのアセスメント力、新たなスキルの獲得を目指す。

③ 月例会(永田理事) 令和5年6月13日部会開催リモート

R5年度の計画

・5月例会：行政説明会 5/27(土) 参加：50名程度

・6月例会：行政説明会 6/24(土) 13:30~15:30 予定 開催方法：ZOOM

④ 会報部会（佐々木理事・中本理事）令和5年6月6日ハイブリッド事務所

次回：令和5年7月10日部会開催ハイブリッド

【第62号について】進捗状況の確認

- ・巻頭言
- ・倫理綱領・行動基準
- ・大会記録
- ・会員職場紹介：任意募集会員施設
- ・研究発表：四国ブロック大会2題、高知県立大学等
- ・新入会員紹介
- ・協会活動・部会活動報告
- ・温故知新
- ・お楽しみコーナー
- ・会員名簿
- ・高知県 SW 三団体リーフレット
- ・広告
- ・編集後記
- ・表紙作成

※最終校正から10日程度で印刷が仕上がる、7月末までの発行を目指し、最終校正は7月中旬。

→R5.6月中に全データ揃うように

⑤ 財務部（佐々木理事・中本理事）令和5年6月3日13:00～ 佐々木・中本

- ・協会事務所戦記代金ご請求連絡、通知文書あり 令和5年3月分 -2,544円
- ・令和5年度口座振替 令和5年7月下旬
- ・引き落とし事前通知：5月MSW通信掲載（口座の入金状況確認）
- ・振替予定件数：180件（正会員・賛助会員・過年度請求含む 令和5年6月13日付け）

⑥ 大会部会（島田理事）令和5年5月17日リモート、6月14日リモート

次回：令和5年7月12日部会開催リモート

- ・大会テーマ（身寄りのない人支援を3カ年計画で取り組んでおり、本年度が集大成。マクロ領域。）
- ・「身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して」は本年度も継続。
『身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して～〇〇〇〇〇〇〇〇～』
（令和4年度：『身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して～多職種・チームでの支援体制づくり～』）

【副題候補】

- ・身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して～_____～
- ・開催日時・プログラム
候補日：〔 R6年 □ 2月11日（日）・□ 2月18日（日）・□ 2月25日（日）・□ 3月3日（日） 〕
⇒候補日を部会の方で2日に絞り、他3県に提案する。
- ・時間帯：午前中から始め、15:00には終了するのはどうか。

【プログラム】

- ・講演 1～2題
- ・実践、研究の報告会（四国4県より）

【懇親会】

- ・懇親会については、県外の方が楽しみにされているため、開催前日の夜に予定し、決行については、開催1～2週間前の感染状況により、判断するのはどうか。
- ・開催方法
〔 □ 対面（100～150名） ・ □ リモート ・ □ ハイブリッド 〕
- ・対面での開催を予定し、開催一か月前の感染状況により、対面が困難であれば、ハイブリッドではなく、リモート開催にした方が、トラブルが少なく開催できるのでは。
- ・開催場所（候補）（対面又はハイブリッド開催の場合）
あんしんセンター、人権啓発センター、ちより街テラス、ふくし交流プラザ、ピアステージ
- ・講師

半田市社会福祉協議会や石川県の加賀市社会福祉協議会など、市町村社会福祉協議会市町村地域包括支援センター。6月に開催される日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会でも講師について情報収集が可能（中本）。

・プレ大会及び関係団体機関へのアンケート実施（早期に） 対象：老施協特養、居宅ケアマネ、包括支援C、介護医療院等⇒アンケート案の作成へ

- ・四国行政評価支局第3 評価監視官室と意見交換：中本⇒今後の身元保証問題に対する国策に繋げる

⑦事務局（広報部会：MSW 通信・HP・LINE その他）

- ・HP 更新 計7回 研修・トピック情報
- ・ライン更新計1回 研修・トピック情報
- ・通信発行 令和5年5月30日

★MSW 通信への記事投稿お待ちしております！

会員で共有したいことや全国のソーシャルワーカー仲間、関係者、国民にお伝えしたいことがあれば先ずはご相談ください。

送付先は通信 yahoo アドレス kochimsw@yahoo.co.jp

3. 他団体関係機関からのお知らせ・案内・名義後援等

- 1) 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会案内：令和5年6月18日全国大会有明会場 中本出席が難しく高原副会長がリモート参加予定 会長会費請求あり、会長会事務局一覧表 会長会懇親会案内 収支報告教育研修部会部員一覧表
- 2) 日本医療ソーシャルワーカー協会大会 in 東京オープンチャットのご案内 チラシ等届く
- 3) 愛媛県医療ソーシャルワーカー協会：2023年度基礎研修Ⅰ（初任者研修）案内 オンディマンド＋ライブ開催
- 4) 北海道医療ソーシャルワーカー協会：第66回北海道医療ソーシャルワーク学会案内「地域に根差す医療ソーシャルワーカーの価値と魅力～AI化できない専門性～」
- 5) 高知県社会福祉協議会分室：丸の内ビルでのAED講習会
- 6) 第59回九州医療ソーシャルワーカー研修会案内 大分県協会
- 7) 名義後援：第50回高知酒害サマースクール
- 8) 医療基本法制定に向けた院内集会 医療基本法から見た現行医療制度の問題点 案内
- 9) 北海道医療ソーシャルワーカー協会：北見地域のガン患者さん支援セミナー案内、通院困難患者支援オンラインセミナー
- 10) 愛媛県医療ソーシャルワーカー協会役員交代挨拶状（新任1名にて計8名）
- 11) 在宅医療災害時医療提供体制強化支援事業案内
- 12) 第19回ヘルシー・ソサエティー賞推薦案内
- 13) 日本学校ソーシャルワーク大会第17回全国大会案内
- 14) ひきこもりピア相談会
- 15) 自閉症協会ホームページ案内
- 16) 大人の発達障害セミナー案内
- 17) ふくし就職フェア in Kochi
- 18) 広島県医療ソーシャルワーカー協会：会長交代挨拶状案内
- 19) 愛知県医療ソーシャルワーカー協会：会報No.33号案内
- 20) 日本医療ソーシャルワーカー協会：認定医療ソーシャルワーカー資格啓発チラシ2023案内
- 21) 徳島県医療ソーシャルワーカー協会：会長交代挨拶状案内

4. 協会代表者派遣

- ・高知県高次脳機能障害者支援委員会事務局より情報提供依頼

目的：MSW から見た高次脳機能障害者支援における現状の問題点等について聴かせてほしい。

理事から意見集約し5月17日に当該担当課 高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課へメール報告済み：中本

- ・令和4年度第2回高知市高齢者保健福祉計画推進協議会議事録確認依頼：中本
- ・令和5年度高知市高齢者保健福祉計画推進協議会開催 令和5年7月12日：中本
- ・鳥取県災害リハビリテーション支援協会設立記念講演会：栗原氏講演

5. 令和4年度総会報告

・令和5年5月20日 協会事務所 第1号議案から第5号議案まで賛成多数にて可決（別途総会議事録報告済み：協会HP掲載、正会員以外へは郵送済み）

6. 2023年度 月例会 制度学習会報告

★5月例会★

【感想①】細木病院 立花望

5月月例会では、「地域共生社会の実現に向けて」「高齢者虐待について」「高知市訪問型サービスC型事業」について学んだ。最近、地域共生社会という言葉をよく聞くようになったが、なんとなくのイメージしか出来ていなかった。制度や分野の垣根を超え相談に対応し、相談を地域づくりにつなげるということが印象に残った。実際に高知市の取り組みについても、新たな社会資源とし知ることが出来た。高齢者虐待については、一時期と比べると増加しているということに驚いた。虐待の行為を理解し、早期に関係機関へ繋げ相談窓口へ繋いでいきたいと思う。

高知市訪問型サービスC型事業については、コロナ禍で退院前訪問等制限がかかり、不安を残したまま退院調整をしたケースもあったが実際繋げたことがなかった。実際に事例を通し、退院直後に繋げることで住み慣れた場所で出来るだけ自立した生活を送れることが理解できた。入院中、多職種で事業に繋げることが出来るか検討もしていきたいと思った。

【感想②】近森病院 高橋美冬

今回の月例会では、「地域共生社会の実現に向けた取り組み」、「高齢者虐待について」、「高知市訪問型サービスC型事業」について講義を受けた。まず地域共生社会について高知市の取り組みとしてほおっちょけん相談窓口を設置し住民がより相談しやすい環境づくりをしていることや、専門機関だけでなく企業や学生なども関わり地域全体で取り組んでいる様子が分かった。次に高齢者虐待について、近年増加傾向にあることを知り、事例を踏まえて地域包括支援センターの動きを知った。最後に高知市訪問型サービスC型事業について、事業の対象者や利用の流れなどケアマネジャーや訪問リハビリとの連携の様子など学んだ。言葉だけは聞いたことがあっても具体的な取り組みの様子はイメージがついていなかったこともあり、今回の月例会は大変参考になった。

★6月例会★

【内容】生活保護制度の現状と動向について/年金制度の基礎知識

【講師】高知県子ども・福祉政策部 福祉指導課 高知市福祉事務所 高知東年金事務所

【日時】2023年6月24日(土) 13:30~14:30

【方法】オンライン ZOOM

【参加数】60名

【認定医療ソーシャルワーカーポイント】2ポイント 承認済み

【総括】高知県立あき総合病院 大城慶乃

前半は高知市福祉事務所様より生活保護の説明があった。令和3年度と比較して令和4年度は相談件数、申請件数ともにふえてきており、令和5年度も増加傾向であるとのことであった。高知市保護係の一人あたりのCWの担当人数は、国の基準より多く上回っているということであった。また、一般病棟と比較して介護医療院が最低生活費が低いというお話もあり、介護医療院に転棟後、生活保護が打ち切りになった事例もあるという話も伺えた。

後半は老齢年金について高知東年金事務所様より繰り上げ・繰り下げ受給についてや、基礎年金番号が分からなければ一般的な返答になること、代理人として相談する場合は必ず委任状が必要なことなどの説明があった。質疑応答では患者様が病院へ初診証明をそのまま持って来られるが、何の初診証明がわからないという意見があった。一度事務所へ持ち帰って、対応を検討して下さることになった。

【感想】芸西病院 中屋三菜美

生活保護の保護状況について、どの市町村も高齢者世帯が圧倒的に多く驚きと、両親や自身の老後に不安を感じました。また、ワーカーについても経験年数の浅い人が多くを占めており、その中で多くの人を担当し、それぞれの事情に寄り添いながら対応されている事についても大変な状況なのだと知りました。配布資料の生活保護のしおりは一般の人々向けであるものの、開始までの流れやケースワーカーによる指導援助等初めて知る内容も多く、理解がしやすかったです。Q&Aでは持ち家があったらや、車の所有している場合の生活保護受給についても触れられていて、よく考えられた制度だと感じ、とても勉強になりました。

7、災害時のメンタルヘルスケア研修報告 (JRAT D-スタッフ必須研修会)

【主催】大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会

【講師】村上恵子氏 大阪 DPAT (災害派遣精神医療チーム) 業務調整員
社会医療法人北斗会さわか院作業療法士

【日時】2023年6月19日(月) 19:30~21:00

【方法】オンライン ZOOM

【参加】協会代表：北村・中本

【感想】高知市三里地域包括支援センター 北村知世

今回初めて災害に関する全国の研修会へ参加する機会を得た私にとって、印象的内容が2つありました。

1つ目は、オンライン研修を感じさせない講義の進め方の工夫が随所にちりばめられていたことです。全国研修ということもあって通常のオンライン研修だったのですが、ZOOMのチャット機能を使った参加者の反応を随時で確認するウォームアップやワークがあったり、終盤のまとめの前には挙手の機能を使って講義のおさらいクイズがあって習熟度を試すコーナーもありました。自分でもわかったつもりになってしまいがちな一面を認識することができました。

2つ目は、知識を身につけることが自信になる体験ができたことです。今までの震災報道や悲惨な震災後の生活ばかりに目を向けた情報に引っ張られて「自分は災害に耐えうる精神力は持ち合わせていない」と災害の情報はあえて避けてきた私でしたが、「災害後には約75%は自然に回復する」と分かり、思い込んでいた災害の悲惨さを正しい知識で上書きすることができ、今後は災害についてより正しい知識を身につけたいと思いました。内容と講義手法があいまってあっという間の90分間でした。全国規模の研修にもぜひ参加してみることをお勧めします。このような機会を頂きありがとうございました。

次回理事会：R5年 7月13日（木）19：00～ リモートZOOMミーティング

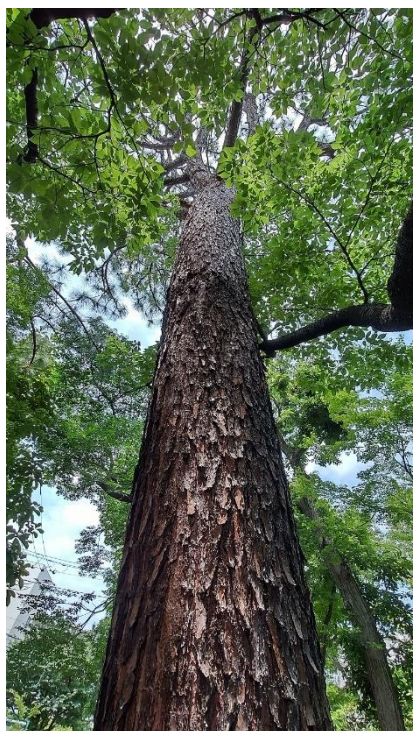
『会員動向』

氏名	種別	内容
野村 佳代氏	入会	高知病院
片山 玲奈氏	入会	高知厚生病院
池田 佐和子氏	台帳変更	所属先人事異動 近森リハビリテーション病院

編集後記

6月に気象庁からの発表というと梅雨入りをイメージする方が多いと思います。しかし、気象庁は気象に関するだけでなく植物の季節観測も行い発表しています。これは生物季節観測と言われるもので、植物の状態が季節によって変化する現象について観測し、そこから季節の遅れ進みや、気候の違い、変化など総合的な気象状況の推移を知る目的で行われています。現在は6種(ウメ、サクラ、アジサイ、ススキ、イチョウ、カエデ)を対象に開花や黄葉などの現象を観測をしています。

今年は6月1日に高知地方気象台がアジサイの開花を発表しました。初夏を彩るアジサイの開花を目にし、植物の状態で季節を感じるのも良いのではないのでしょうか。 理事 M



東京練馬区立牧野記念庭園



高知県医療ソーシャルワーカー協会会員限定 LINE !

高知県医療ソーシャルワーカー協会 広報用LINEアカウント

「MSW通信web」への登録のお願い

会員の皆様

このたび、協会の情報発信の効率化、迅速化を図るために、LINEアプリにて協会の情報発信を行なうこととなりました。

会員の役に立つ様々な情報を日々配信していきますので、ぜひ以下のQRコードから登録をお願い致します。

設定方法などご不明の点があれば、協会広報部会までお問い合わせください。

問い合わせ先) 広報部会
高知大学医学部附属病院
地域医療連携室 前田/高原 088-880-2701



LINE配信を想定した研修会等 のチラシ作成について

2023.6.14

広報部会

(10.5・遊明朝体)

(14・遊明朝体)

(16・遊明朝体)

(18・遊明朝体)

(20・遊明朝体)

(22・遊明朝体)

(24・遊明朝体)

(26・遊明朝体)

(28・遊明朝体)

(36・遊明朝体)

(48・遊明朝体)

(66・遊明朝体)

1pt = 0.3514mm

小学校の教科書：9-10pt

新聞:10.5pt

文庫本:9pt

新書版:9-10.5pt

スマートフォンの場合)

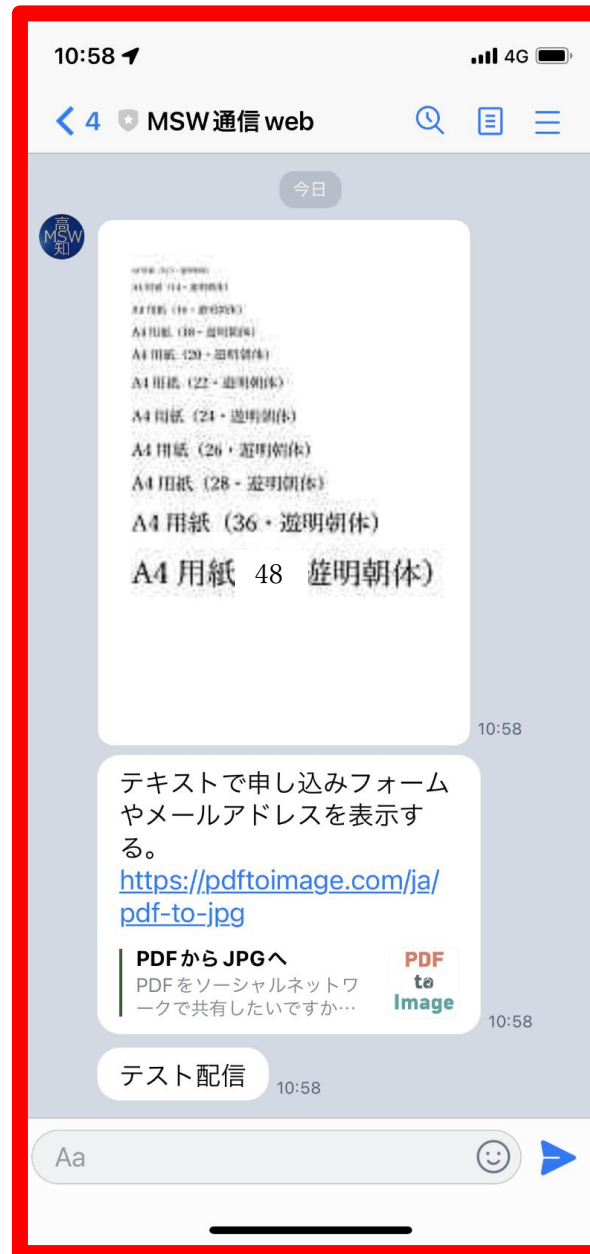
クリックする前の段階で視認してもらうには、A4で作成の場合、研修会の名称はフォントサイズ48以上を推奨。

フォントサイズ28ならなんとか読み取れる。

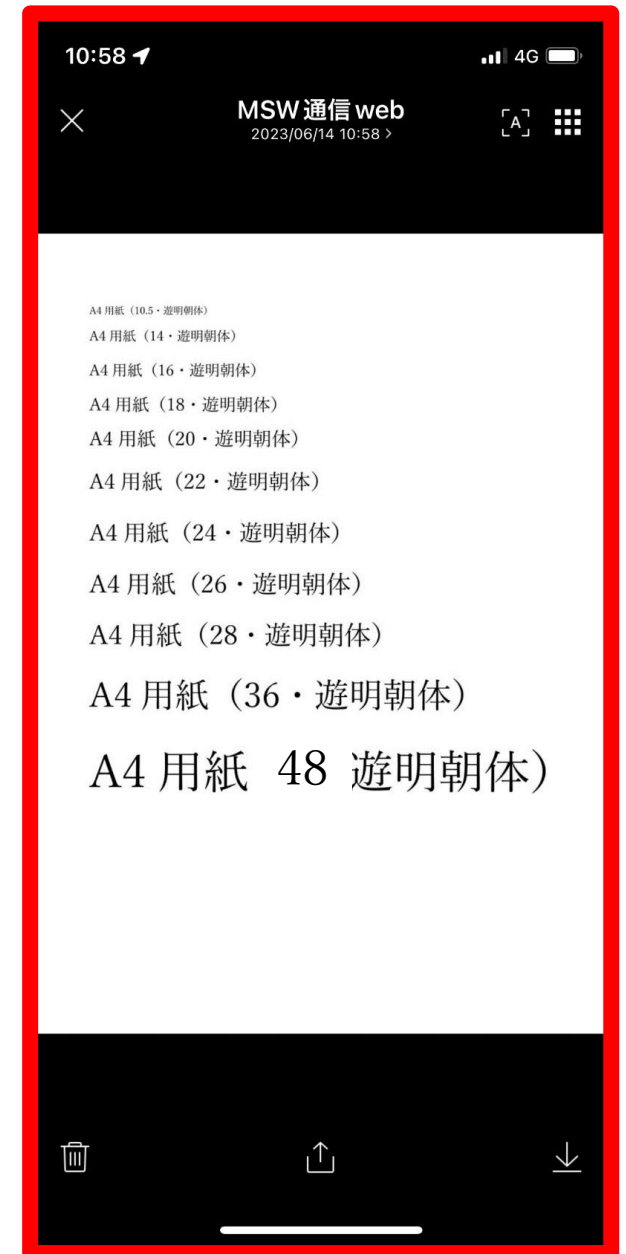
クリックして画像が展開されれば、拡大しなくてもフォントサイズ10.5でも読み取れるが、20くらいあった方が読みやすい

スマートフォンのモニターは一般的なパソコンのモニターよりも解像度が高く、細かな字も読みやすい

配信時の表示



クリックした後の表示



フォントサイズ 36 研修会

フォントサイズ 48 と 今求められる ソーシャルワークの展開

講師：フォント 36 大学福祉学部
高知 花子教授

開催日時：フォントサイズ 28

開催方法：ZOOM による配信

申し込み方法：以下の URL より申し込み

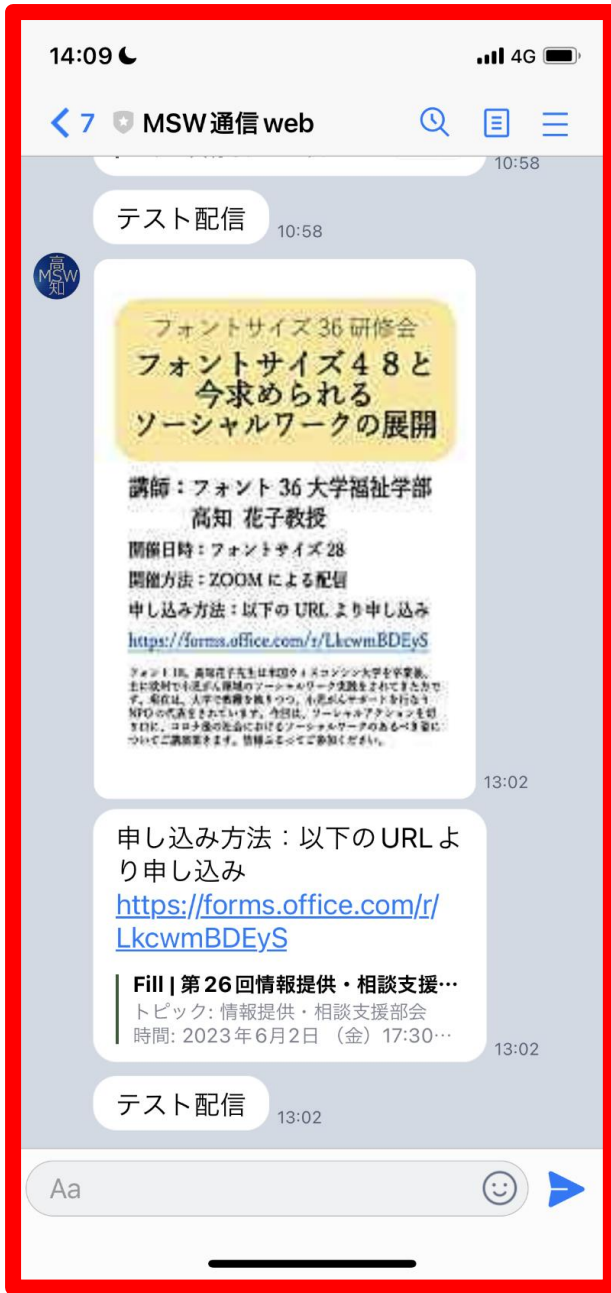
<https://forms.office.com/r/LkcwmBDEyS>

フォント 18。高知花子先生は米国ウィスコンシン大学を卒業後、主に欧州で小児がん領域のソーシャルワーク実践をされてきた方です。現在は、大学で教鞭を執りつつ、小児がんサポートを行なう NPO の代表をされています。今回は、ソーシャルアクションを切り口に、コロナ後の社会におけるソーシャルワークのあるべき姿についてご講演頂きます。皆様ふるってご参加ください。

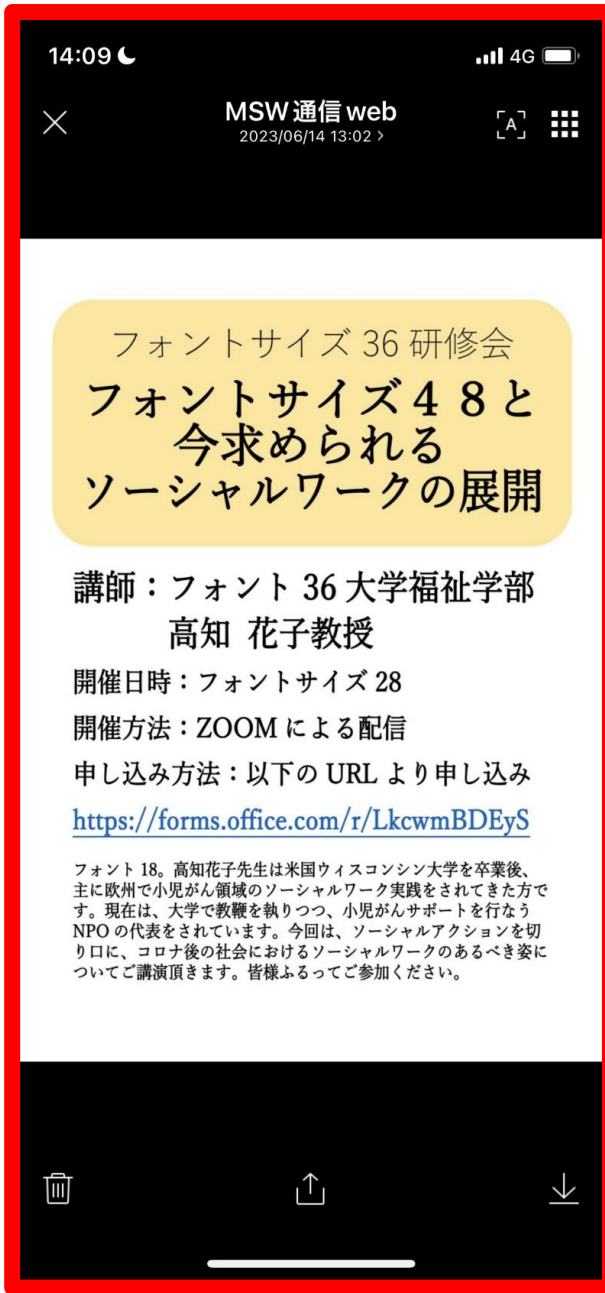
印刷での配布を考えるなら余白が必要だが、モニターで表示させることだけでの利用なら枠一杯まで文字等が表示されていてはかまわない

フォントサイズ48だと1行に表示できる文字数が10文字程度になってしまうので、必要に応じて文字幅を80-90%にして、表示文字数を増やしている

配信時の表示



クリックした後の拡大画面



クリックした後の通常画面

